

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	関係課
施策名	青少年育成
施策コード	5-1-3

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり
	小政策	次代を担う子どもを育みます
現況と課題	<p>グローバル化や高度情報化の進展は、新しい価値をもたらす一方で、青少年における新たな負の影響をもたらす一面ももっています。また、雇用環境の変化に伴う経済的な格差や将来への不安が発生しています。国においては、平成22年に子ども・若者の最善の利益を尊重することなどの5つの理念を掲げた「子ども・若者ビジョン」が制定され、その中で子ども・若者の育成は「未来への投資」「社会への投資」と位置づけた施策推進の姿勢が示されています。</p> <p>本市では、青少年相談員や市内青少年の健全育成に協力する店などと連携した社会浄化活動や学校、地域との連携強化の推進、さらには、青年リーダーの養成、子ども会の活動支援といった人材育成や活動団体の支援を実施しながら、子どもたちが心身共に健康で人間性豊かに成長できるよう支援を展開してきました。</p> <p>今後は、子どもたちを取り巻くさまざまな環境変化に適切に対応できる人材を育成していくためにも、教育、福祉、保健、更生保護、雇用など分野横断的に、家庭・学校・地域社会全体で子どもたちを育てていく機能を強化していく必要があります。</p>	
施策目標	次代を担う青少年を健全に育成するため、青少年団体の充実を図るとともに、関係団体や機関との連携を強化し、地域社会全体で育てていく環境を構築します。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	0
-------------	---

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
心身ともに健やかな子どもたちを地域ぐるみで育成していると感じている市民の割合	市民実感度	48.680	35.450	39.160	34.540	35.660	0.000
	加重平均値	2.491	2.307	2.333	2.273	2.325	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		90.460	90.560	91.460	93.030	0.000
	加重平均値		3.515	3.483	3.523	3.568	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
子ども会加入児童率	目標値	%		93	94	95	95	95
	実績値	%	92.1	88.21	67.6	84.6	82.1	0
	達成度	%		94.83	71.91	89.05	86.4	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
「青少年の健全育成に協力する店」加入率	目標値	%		43	44	45	70	70
	実績値	%	42.9	42.28	43.7	67.5	76	0
	達成度	%		93.37	99.32	150	108.6	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	○様々な体験活動を通じて自主性や社会性を育むことができるため指標とすることができる。 ○青少年の健全育成に協力する店の加入を促進し、地域で青少年の非行を防止することができるため指標とすることができる。
	目標値設定の考え方	○少子化等により子ども会活動が困難になる中、地域単位で子ども会加入率の向上を目指す。 ○青少年の非行を防止するためにも地域のコンビニや本屋等のお店への登録率の向上を目指す。

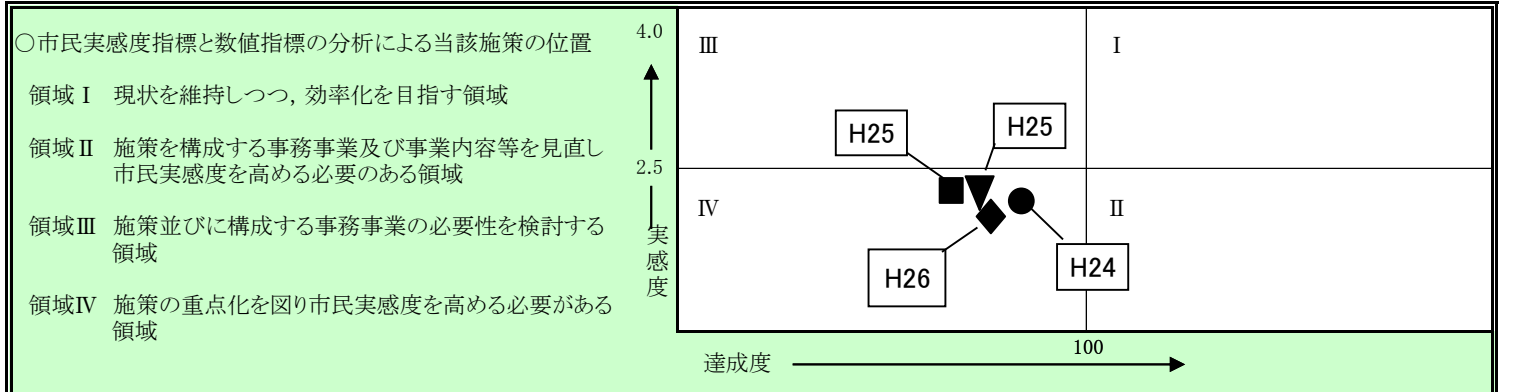
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 地域の子どものは地域で育てたり守ったりするという意識の醸成を図るため、地域におけるの繋がりを強化していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 青少年団体を中心に様々な分野における市民団体や関係機関との連携強化を図り、地域が一体となって取り組む環境を構築し、子ども達の健やかな成長を支援します。

3 平成27年度の実績

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 子ども会の活動においては、各単子の活動だけでなく、笠間、友部、岩間地区単位での事業を実施した。また、笠間市だけでなく矢板市の子ども会との交流会を実施し、幅広い交流活動を図った。協力店の訪問活動においては、定期的に相談員が訪問し、青少年の非行防止等に努めており、協力店の新規拡大も合わせて実施している。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 子ども会については、少子化の影響により単位子ども会が解散せざるえない状況もあり、加入率については年々減少傾向にあるが、8割以上の加入があったことは、保護者及び育成者の理解があったといえる。また、「青少年の健全育成に協力する店」については、経営者の方の協力を得て3店舗の新規加入を頂き周知活動の成果が表れている。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 次代を担う青少年を健全に育成するためには、青少年団体の充実が必要であり、これらの事業は適正といえる。
------------	---

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 出生数の減少に伴い、子ども会の会員数の減少や、社会教育団体の組織の希薄化が進むことが懸念される。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 社会教育団体と市が協働して、行政では補えない事業を展開して青少年育成に努めていく。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

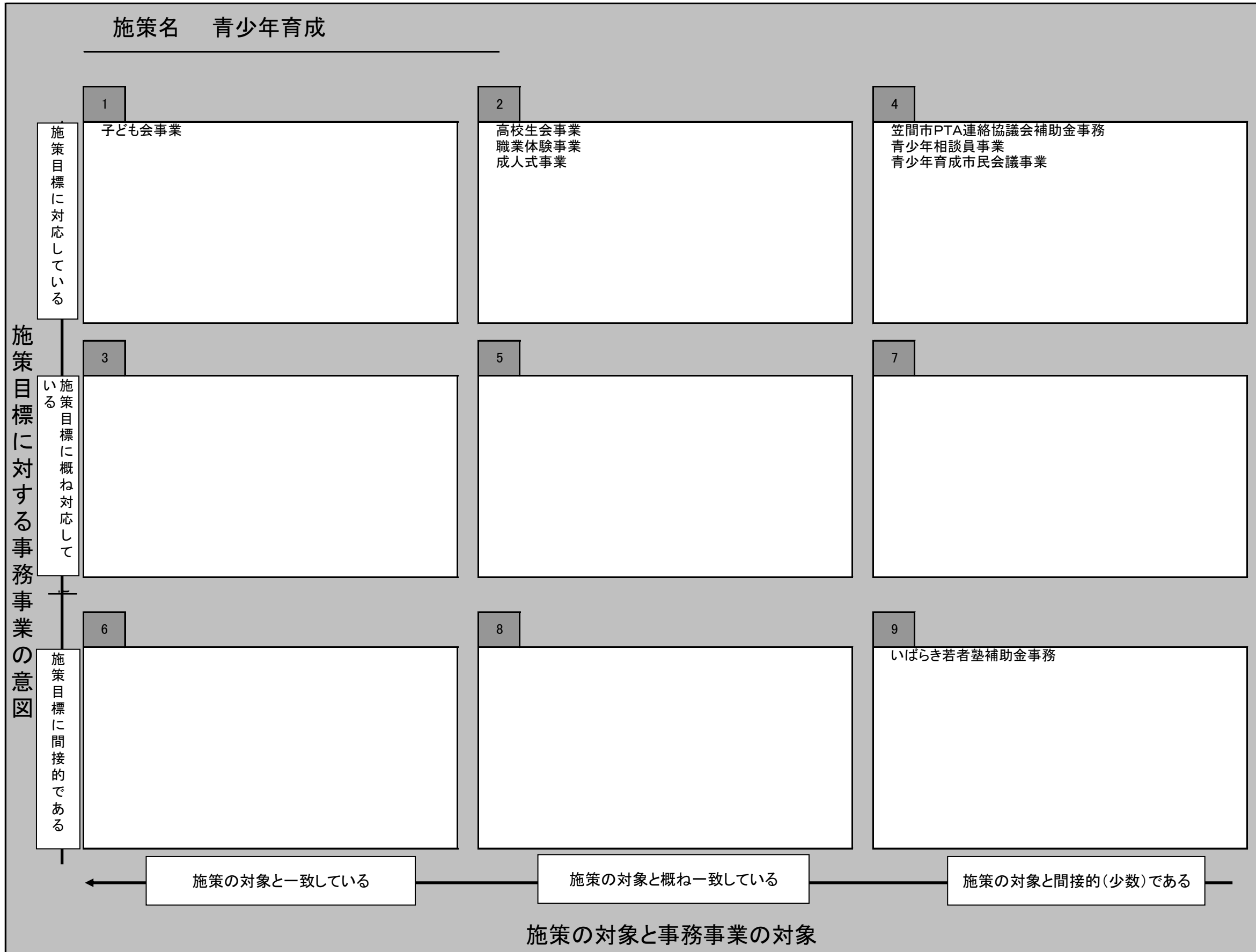
施策名 03 青少年育成

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	3,375	5,863	4,278	13,516	4,505

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
1	青少年相談員事業	青少年の健全育成を図るため、笠間市青少年センター相談員規則に基づき、笠間市青少年相談員として52名を委嘱している。相談員の任期は2年とし、主な活動としては、「青少年の健全育成に協力する店」の訪問活動・学校訪問・まつり及び卒業式巡視・自動販売機(有害図書)の立入調査等となる。	106 政策的事業	活動に参加した延べ人数	人	230	241	180	市単独	1,246	1,087	1,206	01 家庭や地域の教育力の強化	生涯学習課	3
2	青少年育成事業	(職業体験事業) 地域の特色ある産業や、職業を見聞・体験することにより、新たな知識や職業感を身につけるとともに、同世代交流を目的に、平成22年度から事業実施となる。市内小学5・6年生を対象に、ひたちなか市の海上保安庁の巡視船乗船体験等を行ってきたが、平成26年度からは更に拡大し、鹿島の住友金属の見学を実施している。(青少年育成市民会議事業) 青少年育成笠間地区市民会議(笠間地区)と青少年育成岩間地区市民の会(岩間地区)との2団体で活動を行っている。	106 政策的事業	事業に満足した割合(職業体験事業)	%	100	100	100	市単独	13	2,204	119	01 家庭や地域の教育力の強化	生涯学習課	5
3	子ども会事業	地域の子ども達を、心身ともに健全に育成することを目的に、旧市町村単位で活動していた子ども会育成連合会を、平成18年に統合し、笠間市子ども会育成連合会として活動している。主な事業として、笠間市・矢板市との交流会、球技大会、夏休み作品展などがあり、旧連合会の事業を、そのまま引継いで現在に至る。事業の参加状況はもともと実施していた旧連合会では参加者は多いが、全市に広まらないという現状にある。	106 政策的事業	事業参加率	%	0	39	45	市単独	572	831	581	02 青少年団体の充実・支援	生涯学習課	1
4	成人式事業	成人式は平成27年度より、市民体育館で開催となった。成人式の内容は、式典・アトラクション・記念撮影で構成されており、成人者に対する記念品として記念写真を送っている。また、当日の式やアトラクションの運営は、該当者で組織する、実行委員会が中心となる。	106 政策的事業	成人式参加者数	人	657	670	610	市単独	1,544	1,741	2,372	03 推進体制の充実	生涯学習課	3

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 青少年育成



義務的事業, 内部事務事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 青少年育成

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- ↑
- 非常に高い
- 1
- 高い
- 2
- 3
- 中
- 4
- 5
- 6
- 低い
- 7
- 8
- 9
- ↓

1 子ども会事業	2	4
3 成人式事業 青少年相談員事業	5 職業体験事業 青少年育成市民会議事業	7
6	8	10 笠間市PTA連絡協議会補助金事務
9	11	12

事務事業の休廃止検討エリア

高校生事業 〇ばらき若者塾補助金事務

義務的的事业, 内部事務事業

- ←
- 成果は高い (上位)
- 成果はやや高い (中位)
- 成果は普通 (中位)
- 成果は低い、ほとんど出ていない 若しくは把握できない (下位)
-

事務事業の成果

事務事業の成果基準の説明